

YAOCAFE Activity introduction

八百カフェ学生実行委員会 活動紹介BOOK

八百カフェ学生実行委員会の活動を一冊の冊子としてまとめました。

モノ・コト・ヒトと出会い、つながるマルシェ



<https://yaocafe.jp/>



モノ・コト・ヒトが集まり つながるマルシェ

八百カフェは、地域の中に眠る“八百万”の魅力や資源が集まる場。

お買い物や飲食を楽しむだけでなく、その場に集う人々との
会話や交流も、このマルシェの大切な価値です。

出店者と来場者という枠を超えて、
新しい出会いや自分の居場所が生まれる場所を目指しています。

そんな八百カフェを支える学生の活動をこの一冊にまとめました。

目次

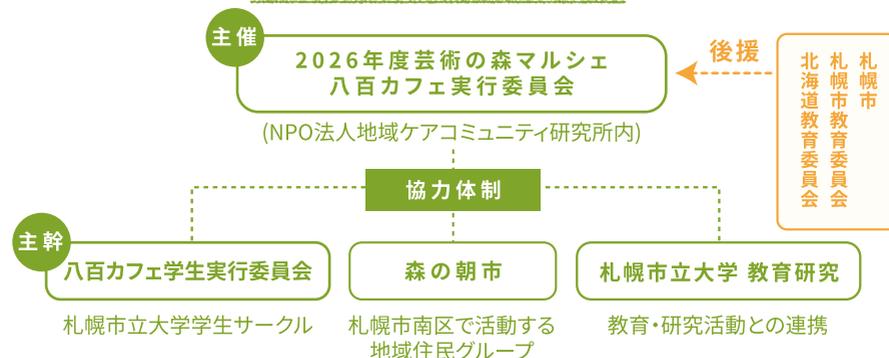
01 八百カフェについて	5
02 八百カフェ学生実行委員会の活動	10
03 各企画の紹介	23
おとなり喫茶とくとく	25
やおまるプロダクション	27
もりもりサロン	29
Memory Closet	31
旅のしおり	33
四季折々	35

about 八百カフェの概要

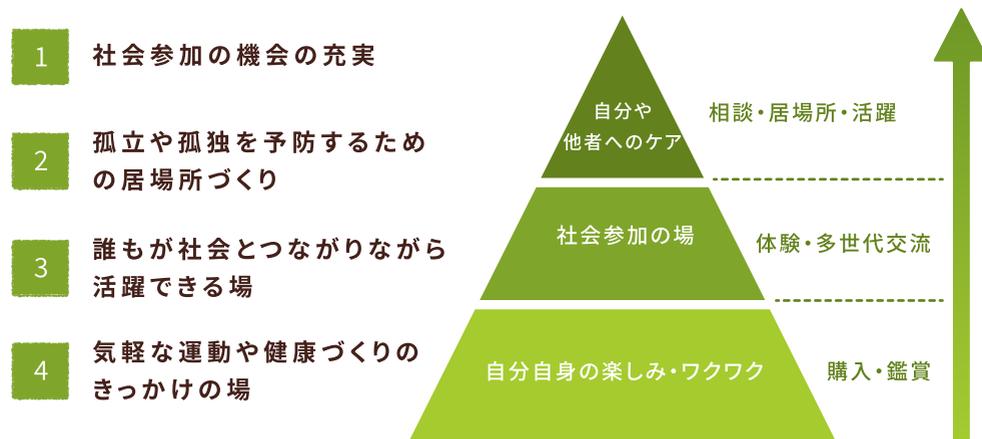
マルシェ名称	芸術の森マルシェ八百カフェ
開催日時	5月～10月に月一回開催(日曜日/9:00-12:00)
開催場所	札幌市立大学 芸術の森キャンパス前(雨天時は屋内開催)
主催	2026年度芸術の森マルシェ八百カフェ実行委員会 (NPO法人地域ケアコミュニティ研究所内)
主幹	八百カフェ学生実行委員会
後援	札幌市・札幌市教育委員会・北海道教育委員会

八百カフェの紹介

organization 八百カフェの組織図



goal 八百カフェの目標



多世代交流 びば



森の健康相談室

札幌市立大学看護学部の教員・学生による健康相談や、体組成・血圧・握力などの測定、骨の健康や口腔内チェックなどの健康測定を実施するブースです。地域の皆さんが自身の健康について考えるきっかけづくりとなるよう、誰でも気軽に立ち寄れる雰囲気になっています。マルシェに訪れた際には、体の気になることを相談したり、さまざまな測定を体験できます。

森の健康相談室は2024年度から開始し、ロゴのデザインや配布資料の一部は看護学部教員と協力し、八百カフェ学生実行委員会デザイン学部の学生が作成しました。



子供から大人まで年齢関係なく楽しめる企画を学生が提案して活動しています。ポッチャやモルックなどのゲームを楽しんだり、お絵描きやあやとりを教えあったり、遊び場だけではなく学び場も提供できるような企画を実施しています。子どもが楽しむ様子を大人が見守ることで、温かい空間にもなっています。

2025年度は「四季折々」という折り紙作りの企画で季節のモチーフを折ってあそびました。



ステージパフォーマンス



地域住民や学生たちがダンスや演奏、マジックなどを披露します。これらのステージは会場内の休憩ブースや椅子から鑑賞することができます。また、鑑賞するだけでなく、時には参加することができるコンサートで演奏したり、踊ったり、色々な体験を通して様々な人たちとの交流を楽しむこともできます。

素敵な音楽によって会場内があたたかく、にぎやかな雰囲気に包まれます。



出店ブース



モノからコトまで幅広い出店内容

-  野菜/果物
-  加工食品
-  雑貨
-  遊び/ワークショップ
-  健康/ヘルスケア

芸術の森地区で10年以上活動を続けている森の朝市では、農家さんや地域のお店が出店し、野菜・苗・お魚・雑貨・加工食品など地域の魅力あふれる商品を取り扱っています。

札幌市立大学のデザイン学部の学生がデザインしたグッズの販売を行ったり、フリースクールに通う子どもたちの作品販売出店など大人や子供に関わらず誰でもお店を出店することができる仕組みです。

さらに近年のマルシェでは、もともとお客さんとして遊びに来てくれていた方が、好きなことや得意なことを活かして出店してくださることも増え、幅広い出店を楽しむことができます。

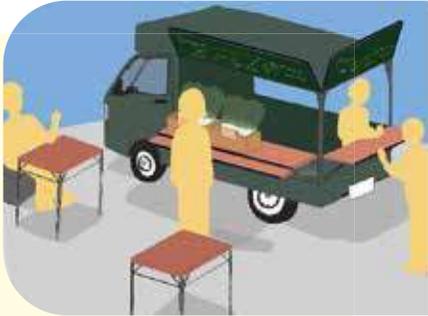


八百カフェの歩み *history*

2021年
7月

八百カフェのはじまり

札幌市立大学デザイン学部4名が「八百カフェ」を企画。COVID-19により、オンラインで大学生活が始まった背景もあり、地域の魅力を生かして、交流したいという想いから移動型のコミュニティカフェを考案しました。



2021年
10月

地域住民を交え、本格的に活動開始!

「先生、私たちの企画を実現したいです!」この一言をきっかけにプロジェクトが始まりました。実現するまでに企画のブラッシュアップを繰り返しました。芸術の森地区で、10年以上活動を続けていた「森の朝市」の皆さんと連携しています!

2022年
4月

八百カフェ実行委員会設立

学生が主体的に活動するために、サークルを設立しました。

プレ開催

第0回のプレ(お試し)開催を行いました。野菜や苗、手作り雑貨の販売、子ども工作コーナーを設け、来場者は約150名でした。開場前から行列ができ、予想以上の盛り上がりを見せました。



2022年
5月

開催数 2022年7回 2023年7回 2024年6回 2025年6回

2022年
5月

やおまる誕生

サークルメンバーがキャラクターデザインを作成し、公式キャラクター「やおまる」が誕生しました。



2025年
1月

地域福祉優秀実践賞を受賞

芸術の森マルシェ「八百カフェ」実行委員会が、北海道社会福祉学会「地域福祉優秀実践賞」に採択されました。

2025年
10月

北海道福祉のまちづくり賞

八百カフェ学生実行委員会が、令和7年度北海道福祉のまちづくり賞の活動部門として、受賞されました。

メディア紹介



2023年 北海道新聞掲載

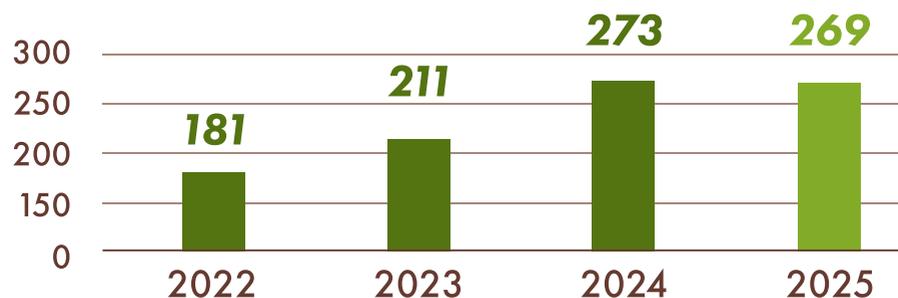


2025年 さっぽろ10区掲載

データで見る 八百カフェ



平均来場者数の推移(1開催あたり)



2025年総来場者数(計6回)



八百カフェ総来場者数
(2022~2025年度)



\来場者に聞いたアンケート結果/

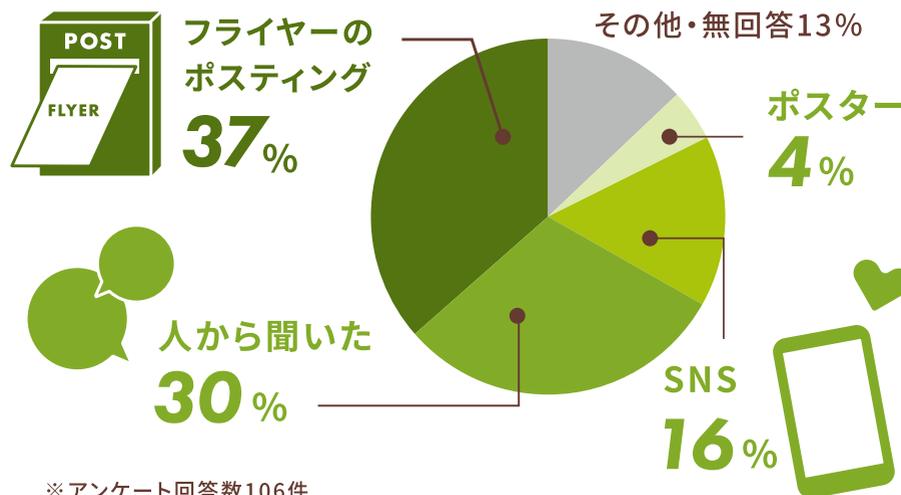
参加者の満足度<5件法/平均>

平均 **4.22**



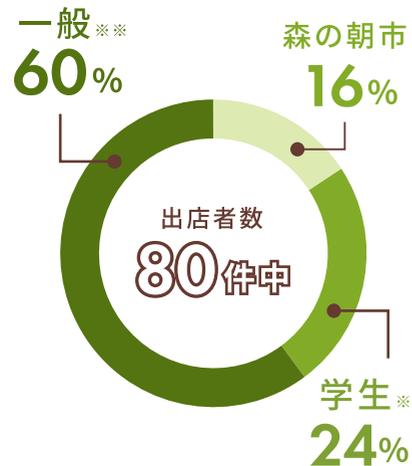
\来場者に聞いたアンケート結果/

八百カフェに行こうと思ったきっかけは?<複数回答>



※アンケート回答数106件

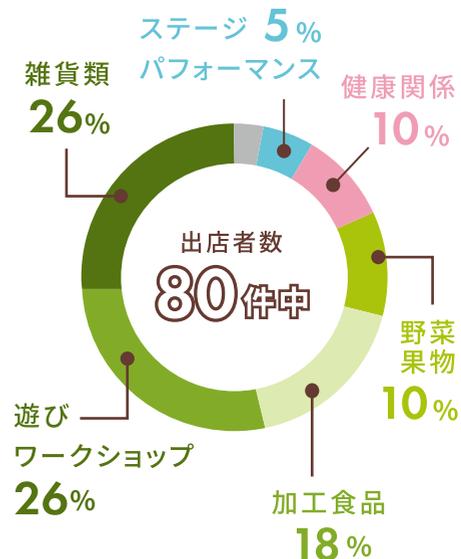
出店者の所属



*札幌市立大学の学生

**地域住民、農家、社会福祉法人、医療法人、NPO法人、フリースクール(子どもの出展)、企業等

出店内容





武田 亘明 さん

元札幌市立大学デザイン学部准教授で八百カフェの企画・立ち上げ・運営に携わってきました!現在は芸術の森マルシェ八百カフェ実行員会理事兼 TAKEDA DESIGN ROOM 代表として八百カフェに関わってくださっています。

Q.八百カフェの一番の魅力は?

多様性です。子供も大人も、売りたい人も買いたい人も、習いたい人も教えたい人も、いろんな市民がそれぞれの目的を持って、多様な満足感を得られます。しかもその立場が入れ替わりながら多様な仕方でも自分らしく楽しめることです。

Q.当初と比べて一番変わった点は?

参加者の多様化と滞在時間が長くなったことです。マルシェをはじめた当初は、買い物をしてすぐに帰る人が多かったのですが、今ここで交流して知り合いが増えて、ゆったりまったりした時間を過ごす方が、どんどん増えていることです。

Q.今後どんな八百カフェになってほしい?

新しい公共は、産官学民が役割分担し、それぞれできることを持ち寄って、創り上げていくものです。主役である地域市民が暮らしやすく安全で楽しく、穏やかで優しいコミュニティについて考えるきっかけとなり、自分らしい取り組みの実践の場として広がっていくと願います。

Q.八百カフェの一番の魅力は?

八百カフェの一番の魅力は、世代間の交流が無理なく行われているところだと思います。健康や子育て、クラフト、食材など内容が多岐にわたり、地域の人・物・自然といった財産を生かしながら、故郷への誇りや愛着を育てていける場になっている点が魅力です。

Q.今後力を入れていきたいことは?

買い物に来た方が、ただ買うだけでなく「自分も参加した」と感じて帰れる場にしたいです。歌ったり、身体を動かしたり、くじ引きやゲームに参加して、簡単だけれど結果がワクワクして楽しかった、また来たいと思える場所にしていきたいです。

Q.今後どんな八百カフェになってほしい?

学生さんたちと楽しく交流しながらできることが基本だと思います。運営側が楽しんでいけば、その雰囲気はお客様にもきっと伝わります。地元の高齢者たちと垣根を取り払って、どんどんかまってください。気軽な声かけで「ここに居ていい」と思える場所に。

小林 真美 さん

10年以上芸森地区で活動している「森の朝市」の代表さんです!八百カフェの立ち上げから地域住民ボランティアのマネジメントなど幅広く協力して頂いています。

02 学生の活動紹介

八百カフェは、学生が主体となって地域住民や教員と連携しながら場をつくり続けています。

4年間にわたり積み上げてきた活動を土台に、より良い場へと進化させるため、学生同士が協力しながら取り組んでいます。

2025年度からは新たに協賛活動もスタートし、多くの企業や店舗の皆さまにご支援をいただきました。ここでは、そんな学生たちの活動内容や取り組みの様子をご紹介します。

学生生活動の紹介

八百カフェ運営やサークル運営を3つの係に分けて、活動しています。

運営

運営係は、八百カフェの円滑な開催を支える役割を担っています。部室や備品の管理、施設利用の申請などの事務作業を行うほか、当日に向けた準備を進めています。また、八百カフェの出店者さんと学生が交流する昼食会や、学生同士の仲を深める交流会などのレクリエーションも企画・運営し、学内での参加者募集や情報発信にも取り組んでいます。

広報係は、公式LINEやInstagram、Webサイトでの発信に加え、サークルメンバー全員で行うフライヤー配布のとりまとめも行っています。開催前の告知や当日の賑わいを伝える写真掲載を通じて、八百カフェの魅力を随時発信しています。皆さんに「行ってみたい!」と思ってもらえるように活動しています。

広報

会計

会計係では、八百カフェ当日に出店料の徴収や交流会でのお弁当代の受け取り、学生への謝礼金の支払いを担当しています。金額のずれが起きないように、当日はダブルチェックを徹底し、謝礼金をお渡しする際には領収書の記入内容も丁寧に確認しています。また、集めた領収書や出店料の書類整理、出店者全員の売上記録の作成など、イベント運営を支える事務作業も行っています。

八百カフェの様子



学生の活動



ワクワクする場所を企画する

いろんなモノと出会う場所に



当日運営の1日

八百カフェ当日の運営は、八百カフェ学生実行委員会の学生で分担し、1開催につき、約10名が八百カフェの運営や準備・片付けに関わっています。年6開催の八百カフェを支えています。

6:50

集合

真駒内駅付近に集合し、札幌市立大学に向かいます!



7:15

大学到着&開催準備

札幌市立大学に到着。当日運営メンバーでミーティングをして準備を行います!

\準備はこんなことをやっています! /

備品を出す

のぼり旗設置

装飾設置

テントの設営サポート

7:50ごろ

出店者受付開始

出店者は備品を借り、学生や近くの出店者とテントを立てたり、準備を行います。

八百カフェは事前に出店者からヒアリングを行い、会場配置や貸出備品を決定しています。

9:00

八百カフェスタート!

学生の出店で店番をしたり、買い物や食べ物を楽しんだり♪

12:00

八百カフェ終了&片付け

3時間の開催時間はあっという間!開催準備の時と同じ役割で片付けていきます。出店者のサポートや会場の片付けを行います!

12:30以降

解散&交流会

片付けが終わったら、解散。時には、みんなで弁当を食べる交流会を開催しています!学生同士や出店者さんとも話す機会ができて楽しいです!



※スケジュールや時間は年によって変更する可能性があります。

広報活動

ポスター



フライヤー



年に一度ポスターを作成し、許可を頂いた店舗に掲示しています

毎開催ごとにフライヤーを作成し、学生が開催周辺地域の郵便受けに投函するポスティングを行っています。

HP



八百カフェ HP



インスタ



八百カフェ SNS



協賛活動

2025年度は、八百カフェの活動に協賛いただいた札幌の企業様をフライヤーに掲載しています。



【札幌企業】

会社情報やサービス紹介などを掲載

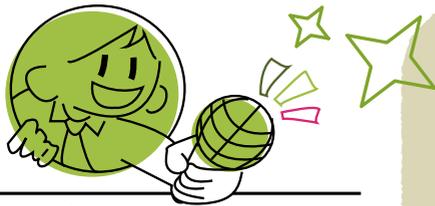
【芸術の森地区お店紹介】

ランチなどができる飲食店を掲載



【<https://yaocafe.jp/>】

【https://www.instagram.com/yao_cafe_800/】



ちよくげき!! 八百カフェインタビュー ～ 教員・地域の方編～

片山めぐみ さん

札幌市立大学デザイン学部の准教授として、学生とともに八百カフェの企画・立ち上げ・運営に大きく携わってくださっています。八百カフェだけでなく福祉やフリースクールでの活動など幅広く活動していらっしゃいます。

Q.八百カフェの一番の魅力は？

学生が成長できることです。また、学生だけでなく参加してくれている地域の人やフリースクールの子などお互いが影響し合うことで繋がりが生まれるので、人の影響力というものがよくわかることだと思います。

Q.当初と比べて一番変わった点は？

学生さんたちに八百カフェを任せられることです。当初は、今のようにシステムチックに動いていませんでした。現在は、逆に場を利用して自分がしたいことができています。

Q.新しく挑戦してみたいことは？

困りごとを抱える人が地域の中で問題を共有したり解決できる社会福祉の活動に挑戦します。ゆくゆくは学生さん達の就職先になるようなNPO法人にしていきたいです。

Q.今後特に力を入れたいことは？

「続ける」ということは難しいことだと思います。今がピークにならないように維持していくを期待しています。そのためにも社会人ボランティアを充実させるべきだと考えています。また夏は暑くてカンカン照りの日が多く、雨の日もあるため、室内での八百カフェ開催も進めていきたいと考えています。

Q.立ち上げで大変だったことは？

学生から授業で考えた企画を社会実装したいと相談される前に、以前から交流のあった「森の朝市」の方から開催場所探しの相談を受けていました。両者を繋いで誕生したのが「八百カフェ」です。大変だったことはあまりなく、忙しかったけど楽しい日々でした。

Q.今後計画していることは？

後は芸術の森地区になくてはならない「インフラ」となった八百カフェを舞台に、フリースクールの子どもの高い活動や、八百カフェで自分の得意を見つけた人々が地域で活躍できる場を創出していくためのNPO法人を立ち上げ中です。

Q.今後特に力を入れたいことは？

続けることが一番難しいことだと思います。来場者アンケートにも例年記載がある、「社会人ボランティア」のしきみを整えるのが今年の課題です。

03 学生の企画紹介

八百カフェ学生実行委員会では、八百カフェやサークルの運営だけでなく、自分たちで企画を立案し、八百カフェという場で形にしています。

学生の「好き」や「得意」から生まれるアイデアはどれも個性的で、商品の開発はもちろん、誰もが楽しめる遊びや、ここでしか味わえない体験へと広がっています。

八百カフェは、学生にとってアイデアを社会につなげる実践のフィールドとなっています。

おとなり 喫茶 とくとく

飲み物と一緒に、
一息つくための
憩いの場。

インタビュー

ーやりがいと苦労は？

「企画の準備に苦労するけど、その分当日を無事に終わった
ときの達成感は気持ちいい！」

ー企画内の雰囲気は？

「連携が取れていて、当日のちょっとしたトラブルにも臨機応変
に対応してくれるメンバーがいてくれる」

当日のようす

休息を求め、とくとくに訪れたお客さんと飲み物販売を通して、会話などのコミュニケーションが生まれるので、和やかな憩いの場が、販売者と購入者によって作り上げられていくようですが、この企画の楽しみの一つです。



企画紹介

販売

様々な飲み物を販売し、憩いの場と休息の時間を提供します。

コラボ企画

他の企画とコラボを行い、さらなる楽しみを発見していきます。



やおまる プロダクション



八百カフェ公式キャラクター「やおまる」、「えなまる」と一緒にみなさまにトキメキをお届けします！



やおまる



えなまる

企画全体の雰囲気

全体的にふわふわとした和やかな雰囲気で活動しています。ふわっとしすぎて当日焦ることも少ないです笑
もっとしっかり予定を組んだ方が良いのかなと思いつつも、これはこれで良いのかなとも思います。

始めたきっかけ

当時八百カフェにいた先輩方とやおまるのグッズや、やおまるの仲間となる新しいキャラクターを作りたい！と話していたところからやおまるプロダクションがスタートしました。グッズ展開の話が盛り上がり、楽しそう！メンバーになりたい！と思い、メンバーの一員となりました。

今後どんなことをしたいか

私は今年で卒業のため、これまでのようにやおまるプロダクションに関わることはできませんが、欲を言えばやおまるの仲間が増えたら嬉しいです。キャラクター相関図などがあれば最高だなと思います…！！

やりがいと苦労

やおまるやえなまるの商品を購入してもらえた時が一番やりがいを感じます！特にあみぐるみを集めているという方に出会ったときはとても嬉しいです。あみぐるみは人気商品な一方で編み手が不足しているため、そこが大変な部分かなと思います。





KIDS HAIR SALON

もりもりサロンは、子どもたちが大変身できちゃうキッズヘアアレンジサロンです！「もりもり」には、芸術の森の「森」、韓国語で髪の毛を意味する「モリ」、そして今っぽく言うと可愛く盛れる！の「盛り」という意味がぎゅっと詰まっています。「こんな場所あったら絶対行きたかった！」そんな

憧れをカタチにした、まるでシンデレラみたいに変身できる特別な空間。子どもたち一人ひとりとおしゃべりしながら、その子のかわいいやかっこいいを引き出します。自然の中で可愛く写真を撮れるアイテムや新しいアレンジなどこれからも進化中です。ぜひ楽しみにしててください！

1 アレンジの種類

もりもりサロンのヘアアレンジは、主に6種類！猫耳ヘア・熊耳ヘア・カチモリヘア・ポニーテール・お団子ヘア・ツインテールなど、気分に合わせて選べます。その中でもダントツ人気は猫耳ヘア！鏡を見る前からワクワクが止まらない子どもたくさんいます。



2 ビーズ

アレンジだけでなく、カラフルなヘアゴムやキラキラのビーズでもっと「盛れる」のもポイント！好きな色のビーズやヘアゴムを自分で手に取って選べるから、「どれにしよう〜！」と選ぶ時間も楽しみのひとつです。



3 子供達の声

子どもたちと関わる中でいちばん印象に残っているのは、ヘアアレンジが終わって初めて鏡を見た瞬間の「可愛い！」「ありがとう！」というキラキラの笑顔。猫耳ヘアをして本当に猫になりきってポーズをしてくれたり、「また来たよ！」と何度も足を運んでくれたり。そんな姿に、私たちもたくさん元気もらっています。



Memory Closet

気無くなった服を
思い出を記したタグとともに
新たな持ち主へ、
古着の販売を行います。

ファッション

リユース

古着



インタビュー

ーやりがいと苦労は？

「仕事の分担や服の管理が大変だけど、より多くの人たちと、
古着を通して思い出を共有できるのが楽しい!」

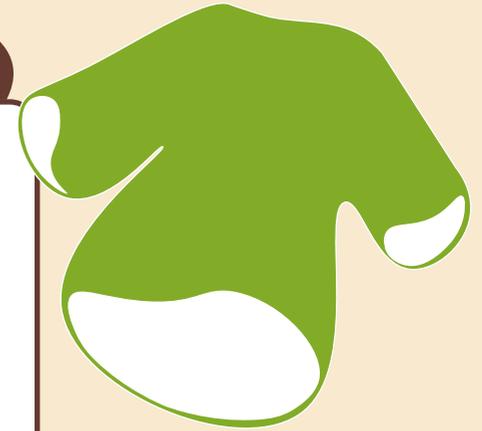
ー今後はどのようなことをしたいか？

「新しい企画もしたいけど、今は企画を継続するための
メンバーが少ないから、新しく入ってくれるようなんとかしたい。」

当日のようす

古着は基本的に50~800円ほどの値段設定で販売していますが、お客さん
と交流しながら値切りしたり、その日
のお客さんの年齢層や、雰囲気など
を見ながら随時値段を変更しながら
行っています。い

い意味で、値段が自由なところも
古着販売の楽しみの一つとして取り
組んでいます。



企画紹介

古着販売

古着の販売や、服の切れ端を活用
したリメイク商品・ハンドメイドの
商品を販売しています。

思い出のつながり

「思い出タグ」によって、古着の購
入者と提供者を繋がます。

古着を提供してもら
う際に、その服について
の思い出をタグに書い
てもらい、思い出と一緒
に古着を販売します。

思い出タグ

古着に詰まった思い出を
積み重ねていく。



旅のしおり

本を読むことはお話の世界への旅。
そんな読書の旅を彩る本の雑貨を販売。



企画全体の雰囲気

ほのぼのとしているけれどひとつの目標に向かっては軸を立てて計画的に進めていく印象です。人のことをよく考えてみなさん優しいです！
創作力も創作意欲も高くてたびたび新しい商品が見られるところが魅力です！

入ったきっかけ

本が好きだから入りました！ずっと本の虫で、小学生の頃には叔母に手作りのブックカバーを誕生日プレゼントにリクエストするほど、たくさん本を読んでいました。今は活動で時間が無く、あまり読むタイミングがないですが、ずっと好きな作家さんなどもあり、そういった話もしたいと思って参加しています。

今後どんなことをしたいか

新しいもの、新しいデザインを考えることが難しいです。あとは、人が少なく企画そのものを回すのが難しいこともありました。でも、本を介してお客さんや、メンバーのみなさんと話が弾むのがとても楽しくて、それでこの企画に参加して良かったなと思っています！

やりがいと苦労

自分の新しい商品を展開していきたいと思っています。デザインすることや、絵を描くことがあまり得意でなく、積極的にはやってこなかったのもう少し増やしたいです。あとは、年1回やっているワークショップを今年もやれたらいいなと思っています！しおり作りでも、ブックバンドでも、なにかできたら嬉しいです！



四季折々

Shiki oriori

誰もが一度は触れたことのある身近な「折り紙」を通して、世代をこえた交流と学びの場をつくる企画です。春夏秋冬、それぞれの季節を感じられる花をモチーフに、地域の方々と一緒に折り紙作品を制作します。

多世代交流

遊び・学び



折り方は学生手作りの

説明書で見れる



その場で会う人と教えあう

企画考案者にインタビュー

Q1 企画を始めたきっかけは？

自身の得意な折り紙を活かして、子供と大人が交流し合える空間を作りたいと思ったことが企画を始めるに至ったきっかけです。

Q2 やりがいや楽しみを教えてください

「家に帰ったら家族と折る」、「学校みんなに教えてい」など八百カフェ外での交流の足掛かりにもなっていることにやりがいを感じています。



折れる作品を見せあう



学生の企画紹介

YAOCAFE
当日の様子





Q. 八百カフェに
入ったきっかけは?



入学前の
オープンキャンパスで
興味を持ちました

Q. 入って良かったこと・
楽しかったことは?



地域の人と年齢性別を
問わず関わることが
できたことです



地域でのイベント運営に
チャレンジして
みたかったから!



自分の作品を
地域の人に見てもらおう&
買ってもらえたこと!

Q. 入って大変だったこと・
苦労したことは?



朝が早いので
参加するのが
大変だったこと...

Q. 経験を活かして
これからしたいことは?



学外の人と関わる
さまざまな活動に
参加してみたい!



夏はすごく暑くて
準備と片付けで
汗だくに...!



地域の出店者さんの
ようにお店を
出してみたいです

八百カフェ活動紹介BOOK

YAOCAFE Activity introduction

制作 八百カフェ学生実行委員会

編集 岡野 もも花 / 小国 由奈

石川 葉夏 / 村元 愛羽

前田 愛琉 / 大久保 杏優

北森 あん

発行 2026年3月